

平成28年度厚生労働科学研究費補助金
(がん対策推進総合研究事業)「総合的な思春期・若
年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究」
名古屋医療センター講堂(外来管理棟5階)
2017.1.12

平成28年度第3回班会議
国内外の現状と課題と全国展開に向けた
JSFPとしての戦略、関連学会との連携



鈴木直
聖マリアンナ医科大学産婦人科学



Oncofertility Consortium JAPAN meeting 2016

地域完結医療連携モデルの全国展開および がん・生殖医療における心理支援体制の構築



開催
日時

2016年12月11日(日)
11:45-17:30

開催
場所

横浜情報文化センター 6階 情文ホール

〒231-0021横浜市中区日本大通 11番地

対象

がん診療拠点病院・生殖補助医療登録
施設の臨床心理士または心理支援担当
医療者

定員

200名 申込締切11月30日(水)

参加費

無料 事前参加申込が必要です。

プログラム

11:45	ご挨拶: 堀部 敬三(国立病院機構名古屋医療センター小児科)、古井 辰郎(岐阜大学医学部医学科研究科産科婦人科学)
11:50-12:10	がん・生殖医療に関する本邦の現状 演者: 鈴木 直(聖マリアンナ医科大学産婦人科学) 座長: 古井 辰郎(岐阜大学医学部医学科研究科産科婦人科学)
12:10-12:40	日本におけるがん・生殖医療連携の課題と対策案: 総合的AYA世代がん対策(堀部班)の研究から 演者: 古井 辰郎(岐阜大学医学部医学科研究科) 座長: 中塚 幹也(岡山大学大学院保健学研究科)
12:40-13:10	がん・生殖医療地域ネットワーク構築の実例 演者: 木村 文則(滋賀医科大学産科学婦人科学) 座長: 古井 辰郎(岐阜大学医学部医学科研究科産科婦人科学)
13:10-13:40	わが国のがん・生殖医療の普及と均てん化に向けてー日本版ナビゲータ制度を考える 演者: 高井 泰(埼玉医科大学総合医療センター産婦人科) 座長: 杉本 公平(東京慈恵会医科大学産婦人科学)
13:40-14:00	休憩
14:00-15:00	Teresa Woodruff(ノースウェスタン大学、米国) 座長: 鈴木 直(聖マリアンナ医科大学産婦人科学)
15:00-15:20	職種間連携の現状と問題点に関して(看護領域) 演者: 森 明子(聖路加国際大学ウィメンズヘルス助産学) 座長: 林 直子(聖路加国際大学成人看護学)
15:20-15:30	休憩
15:30-16:00	職種間連携の現状と問題点に関して(心理領域) 演者: 小泉 智恵(国立成育医療研究センター) 指定発言: Teresa Woodruff (ノースウェスタン大学、米国) 座長: 鈴木 直(聖マリアンナ医科大学産婦人科学)
16:00-16:30	がん・生殖医療に関する治療ガイドライン作成に向けて 演者: 大須賀 稔(東京大学医学部女性診療科・女性外科) 座長: 鈴木 直(聖マリアンナ医科大学産婦人科学)
16:30-17:00	職種間連携の現状と問題点に関して(小児領域) 演者: 三善 陽子(大阪大学大学院医学研究科小児科学) 座長: 北島 道夫先生(長崎大学医学部産婦人科学)
17:00-17:10	講評: Teresa Woodruff(ノースウェスタン大学、米国)
17:10-17:20	閉会の辞: 高井 泰(埼玉医科大学総合医療センター産婦人科)

127名の参加者
医師、看護師、臨床
心理士、薬剤師
ソーシャルワーカー
など

がん・生殖医療連携会議 2016.7.30-31 まとめ

/Oncofertility Consortium JAPAN 2016 Meeting準備会議

◆ 窓口

- ✓ 国立がん研究センター中病院がん相談支援室
- ✓ 各地域の基幹施設
- ✓ 各地域のがん相談支援センター
- ✓ ピアサポーター（JSFP web siteなど）

◆ 啓発

- ✓ 各地域の研究会や研修会を通じて（がん治療医と産婦人科医など）
- ✓ Web siteの充実→本日の会議
- ✓ 教育→学生、若手医療従事者など

◆ 連携

- ✓ 紹介状の統一化
- ✓ Web siteからのDL資材

◆ ヘルスケアプロバイダー

- ✓ 看護師：福井県の取り組み
- ✓ 臨床心理士：日本生殖心理学会、日本サイコオンコロジー学会
- ✓ ナビゲーター機能

Oncofertility Consortium JAPAN meeting 2016

地域完結医療連携モデルの全国展開および がん・生殖医療における心理支援体制の構築



開催
日時

2016年12月11日(日)
11:45-17:30

開催
場所

横浜情報文化センター 6階 情文ホール

〒231-0021横浜市中区日本大通 11番地

対象

がん診療拠点病院・生殖補助医療登録
施設の臨床心理士または心理支援担当
医療者

定員

200名 申込締切11月30日(水)

参加費

無料 事前参加申込が必要です。

プログラム

11:45

ご挨拶: 堀部 敬三(国立病院機構名古屋医療センター小児科)、古井 辰郎(岐阜大学医学部医療系研究科産科婦人科学)

11:50-12:10

がん・生殖医療に関する本邦の現状

演者: 鈴木 直(聖マリアンナ医科大学産婦人科学) 座長: 古井 辰郎(岐阜大学医学部医療系研究科産科婦人科学)

地域完結医療連携モデルの全国展開および がん・生殖医療における心理支援体制の構築

日本におけるがん・生殖医療連携の課題と対策案
総合的AYA世代がん対策（堀部班）の研究から

岐阜大学大学院医学系研究科
産科婦人科学分野
古井 辰郎

地域完結医療連携モデルの全国展開および がん・生殖医療における心理支援体制の構築

がん・生殖医療ネットワークの全国展開における課題

- ◆ 患者紹介システムの適正化、効率化
 - 必要十分な情報共有システム
 - 簡便で時間ロスのない紹介システム
- ◆ 情報提供拠点と温存施設のあり方と適正配置の検討
- ◆ 患者アクセスの効率化
 - ナビゲータ等、啓発活動やJSFPホームページの充実
- ◆ 相談内容の適正化、標準化
 - 資料の共有、ガイドライン作成、人材育成
- ◆ 長期保存の適正管理と情報共有
 - 症例登録制度
- ◆ 経済的支援

地域完結医療連携モデルの全国展開および がん・生殖医療における心理支援体制の構築

がん・生殖医療地域ネットワーク構築の実例

滋賀医科大学 産科婦人科学
木村文則



信頼と満足を追求する
全人的医療

ホーム

教室紹介

受診希望の方

医療関係者の方

学生の方

研修医の方

お問い合わせ・リンク

がん・生殖医療
ネットワーク
OF-Net Shiga



滋賀 がん・生殖医療ネットワーク (OF-Net Shiga)

[ホーム](#) » 滋賀 がん・生殖医療ネットワーク (OF-Net Shiga)

設立の背景と目的

受診案内

受付時間・休診日

アクセス

交通アクセスガイド



看護師募集
(看護部ホームページ)



病院再開発



研修医募集



滋賀医科大学



みんなのハートで未来の扉を開こう

地域完結医療連携モデルの全国展開および がん・生殖医療における心理支援体制の構築

本邦におけるがん・生殖医療連携ネットワークは以下の3つの型に分けることができる。

- 1. 学会型:**がん治療者個人に呼びかけ、あたかも学会のように構成員をつくり、そこに生殖医療施設が加わりネットワークを構築しているタイプ。
- 2. 組織-組織型:**がん治療施設の患者相談センターなどに患者相談窓口を設け、そのがん治療施設と生殖医療施設が、ネットワークを作成しているタイプ。
- 3. 情報提供型:**がん生殖医療施設、その診療内容、がん生殖医療に関する情報を患者およびがん治療施設に提供することを目的としたタイプ。

各地域で完結できる医療連携ネットワークの構築が理想となるが、一方大都市などでは地域ごとの完結が難しいケースも想定される。

地域完結医療連携モデルの全国展開および がん・生殖医療における心理支援体制の構築

わが国のがん・生殖医療の普及と均てん化に向けて
—日本版ナビゲータ制度を考える

埼玉医科大学総合医療センター産婦人科
高井 泰

地域完結医療連携モデルの全国展開および がん・生殖医療における心理支援体制の構築

- ◆ わが国のがん・生殖医療連携の現状
- ◆ 日本型がん・生殖医療ナビゲータ
- ◆ がん・生殖医療ナビゲータによるわが国のがん・生殖医療連携の補完と全国展開

米国のOncofertility Consortiumにおけるがん・生殖医療ナビゲータは、がん患者や、がん治療医が最初にコンタクトをとる専門職として機能している。しかし、本邦のがん・生殖医療ナビゲータは誰が行うのか？どの様に教育を行うのか？など、看護師？など課題が浮き彫りになった。

アメリカ：Oncofertilityコンソーシアム

がん・生殖医療(Oncofertility)

→造語：Oncology（腫瘍学）＋Fertility(妊孕性)

2007年にWoodruff博士らが初めて提唱した概念である。

Oncofertility Saturday Academy

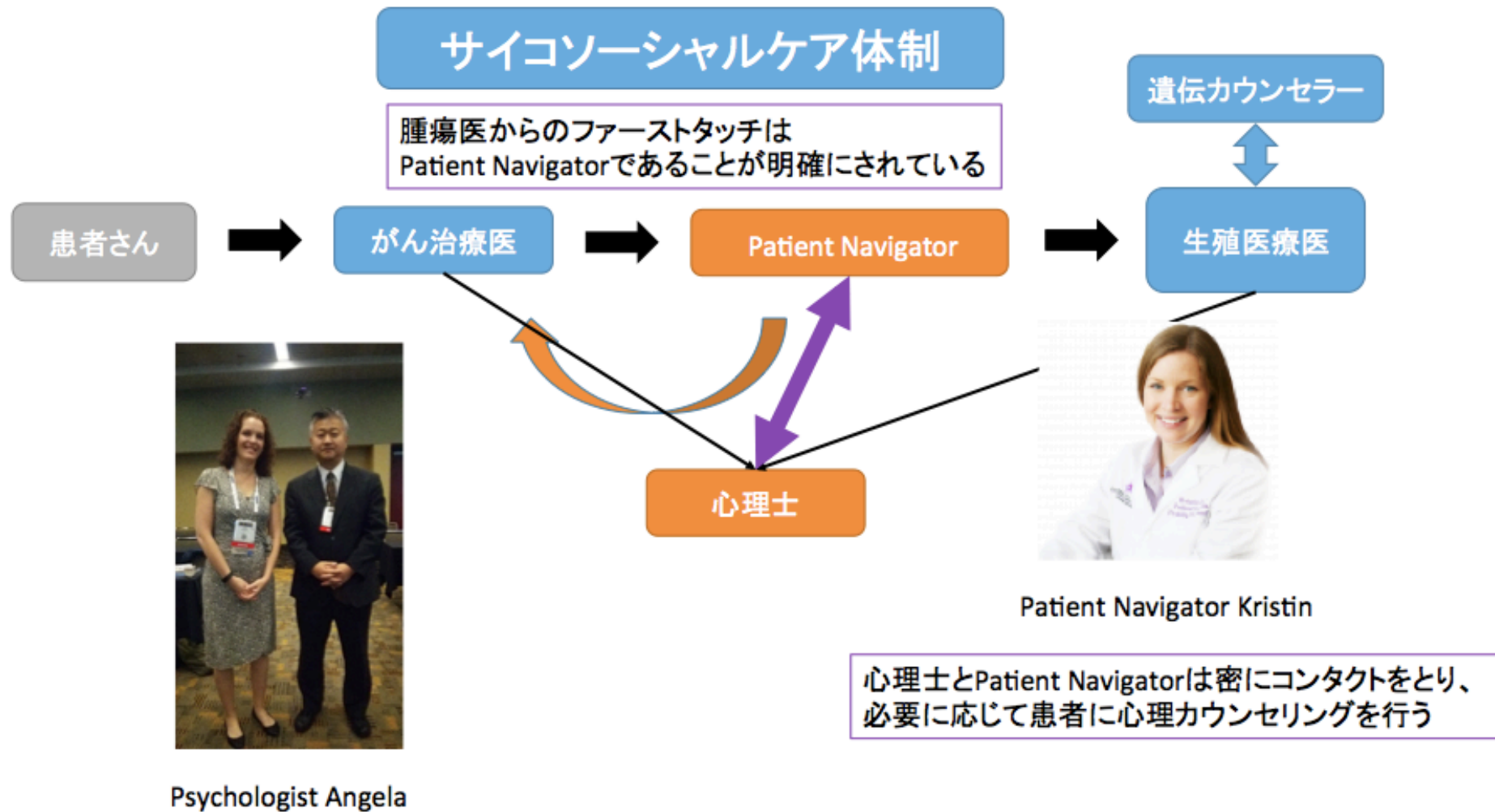


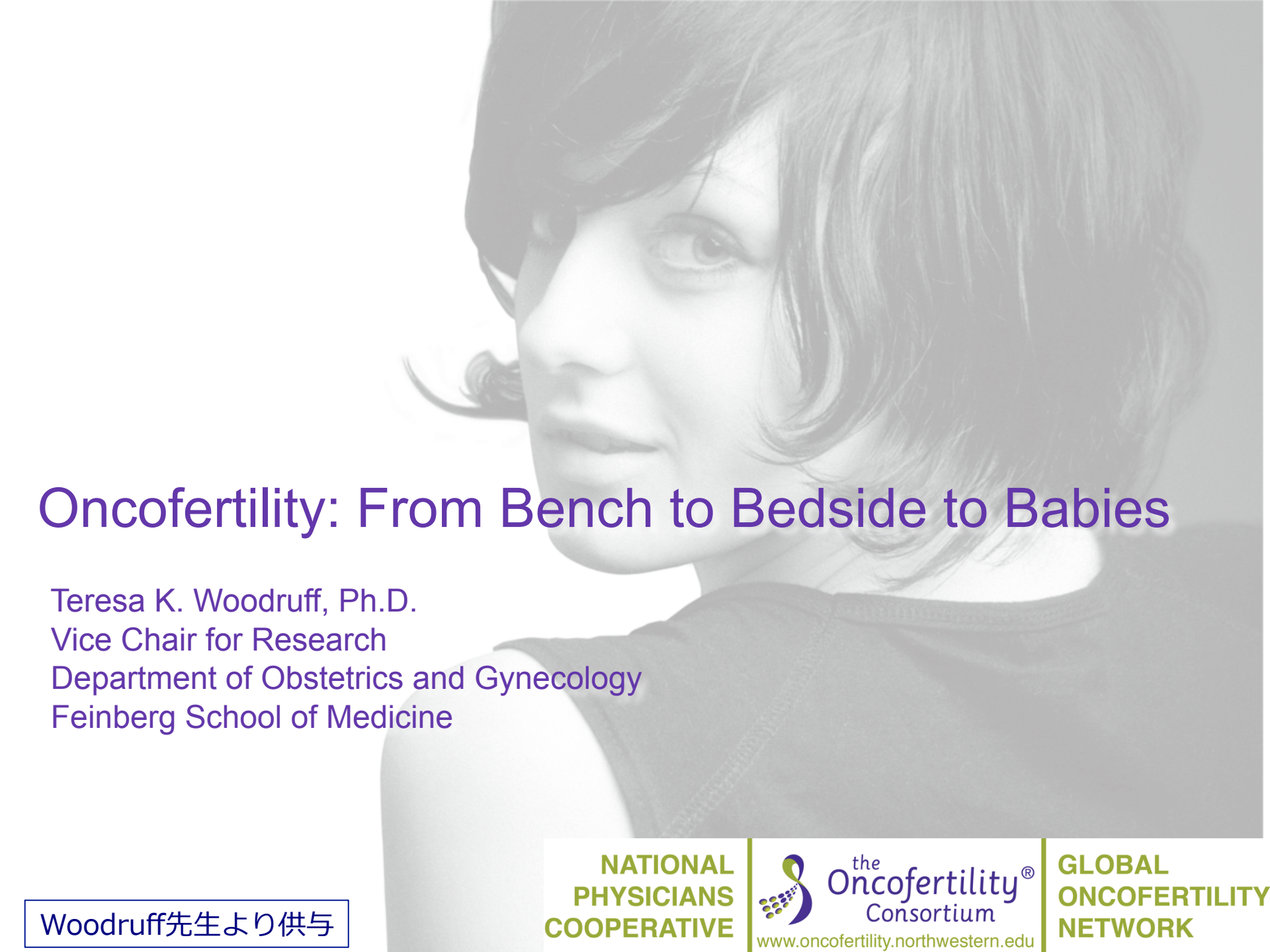
Oncofertility Saturday Academy (OSA) is a community outreach program serving young women from Chicago area high schools. OSA engages the young women in science activities designed and taught by Northwestern University researchers and CRS trainees. CRS's Associate Director, Dr. Teresa Woodruff, is the founder and director of OSA.

Dr. Woodruff was presented with a 2010 [Presidential Award for Excellence in Science, Mathematics, and Engineering Mentoring](#) on behalf of the Women's Health Science Program by President Obama and the White House for their outstanding efforts.

2007年

アメリカ：Oncofertilityコンソーシアム





Oncofertility: From Bench to Bedside to Babies

Teresa K. Woodruff, Ph.D.
Vice Chair for Research
Department of Obstetrics and Gynecology
Feinberg School of Medicine

Woodruff先生より供与

**NATIONAL
PHYSICIANS
COOPERATIVE**

 **the
Oncofertility[®]
Consortium**
www.oncofertility.northwestern.edu

**GLOBAL
ONCOFERTILITY
NETWORK**

State of the Problem-2005

Fertility preservation was an option for men (although navigation was not always provided)

Young women with similar hope for survival had fewer options made available to them

Three main gaps: Information Gap; Data Gap; Option Gap



Woodruff, *Nature Reviews*, 2010

**NATIONAL
PHYSICIANS
COOPERATIVE**



the
Oncofertility®
Consortium

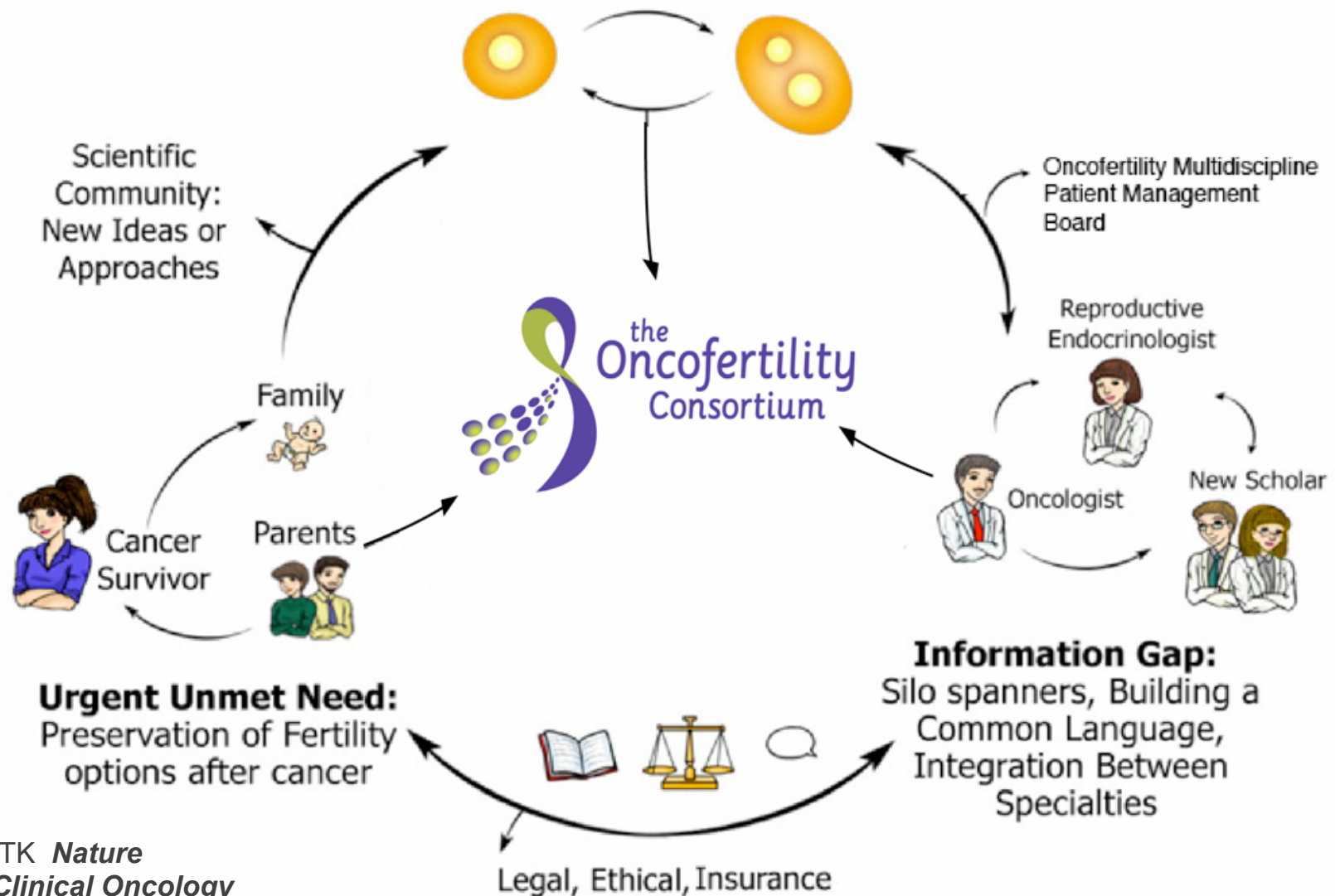
www.oncofertility.northwestern.edu

**GLOBAL
ONCOFERTILITY
NETWORK**

Woodruff先生より供与

Fundamental Question:

What regulates follicle growth and oocyte maturation?
How can eggs and follicles be preserved without damage?



Woodruff, TK *Nature Reviews Clinical Oncology*
2010

NATIONAL
PHYSICIANS
COOPERATIVE



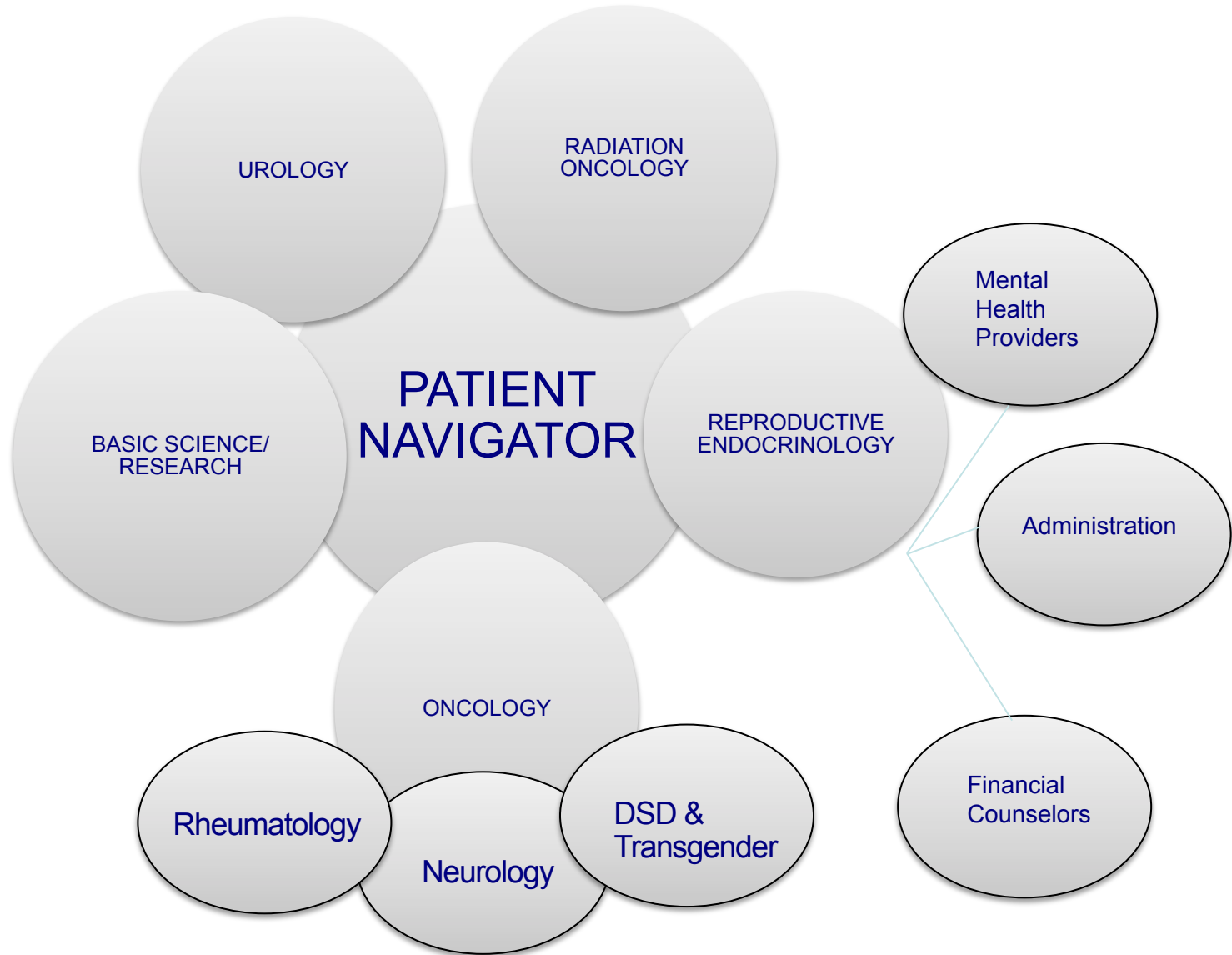
the Oncofertility[®]
Consortium

www.oncofertility.northwestern.edu

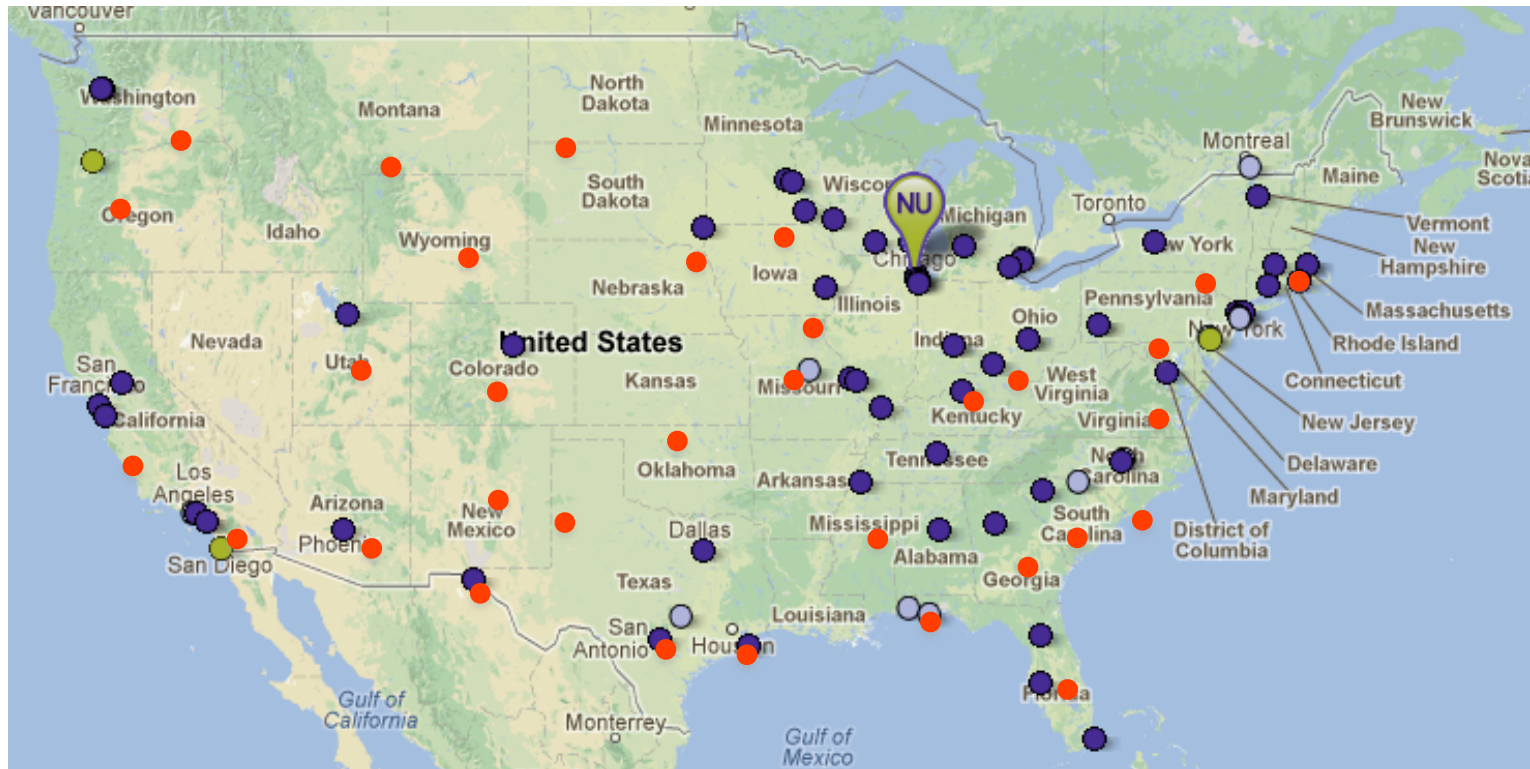
GLOBAL
ONCOFERTILITY
NETWORK

Woodruff先生より供与

The Team at Northwestern



National Physicians Cooperative



FertLINE : 866-708-FERT (3378)

Kristin Smith - patient navigation

**NATIONAL
PHYSICIANS
COOPERATIVE**



the
Oncofertility®
Consortium

www.oncofertility.northwestern.edu

**GLOBAL
ONCOFERTILITY
NETWORK**

Woodruff先生より供与



PATIENTS

NATIONAL
PHYSICIANS
COOPERATIVE

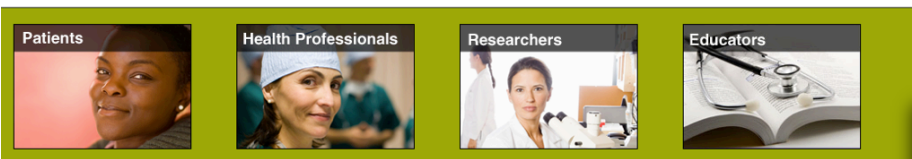


the
Oncofertility®
Consortium
www.oncofertility.northwestern.edu

GLOBAL
ONCOFERTILITY
NETWORK

Woodruff先生より供与

Authoritative, Up to Date, Enduring Education Materials Anyplace, Anywhere, Your Language All Constituents



Latest Blog Posts

August 9 2013
President-Elect of the American Medical Association To Speak at the 2013 Oncofertility Conference

August 7 2013
Tomorrow's VGR: Psychological Aspects of Fertility Preservation

July 30 2013
After Cancer: Surrogacy As a Fertility Option

more

Latest News

August 28 2013
Washington Post Discusses Oncofertility

August 27 2013
NPR Interview with Dr. Laxmi Kondapalli

August 23 2013
Congratulations to the Women Survivors Alliance

more

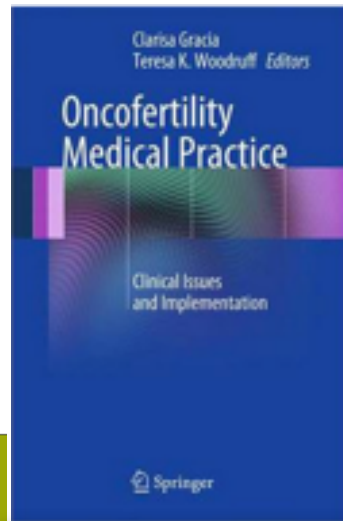
Events

Sep 9 2013 - 8:00am - Sep 10 2013 - 6:00pm
2013 Oncofertility Conference: Fertility and Cancer Around the Globe (Chicago, IL)

Oct 12 2013 - 8:00am - Oct 17 2013 - 5:00pm
ASRM Annual Meeting

Oct 16 2013 - 8:00am - Oct 17 2013 - 5:00pm
The Society of Adolescent Young Adult Oncology Annual Meeting (Irvine, CA)

more



Northwestern University | Northwestern Calendar Plan-it Purple | Northwestern Search
MyOncofertility.org | Woodruff Lab | Institute for Women's Health Research | Women's Health Science Program | Save My Fertility
Oncofertility Consortium | 303 E Superior Street, Suite 10-121, Chicago Illinois 60611 | Phone: 312-503-3378
World Wide Web Disclaimer | University Policy Statements | © 2013 Northwestern University

**NATIONAL
PHYSICIANS
COOPERATIVE**

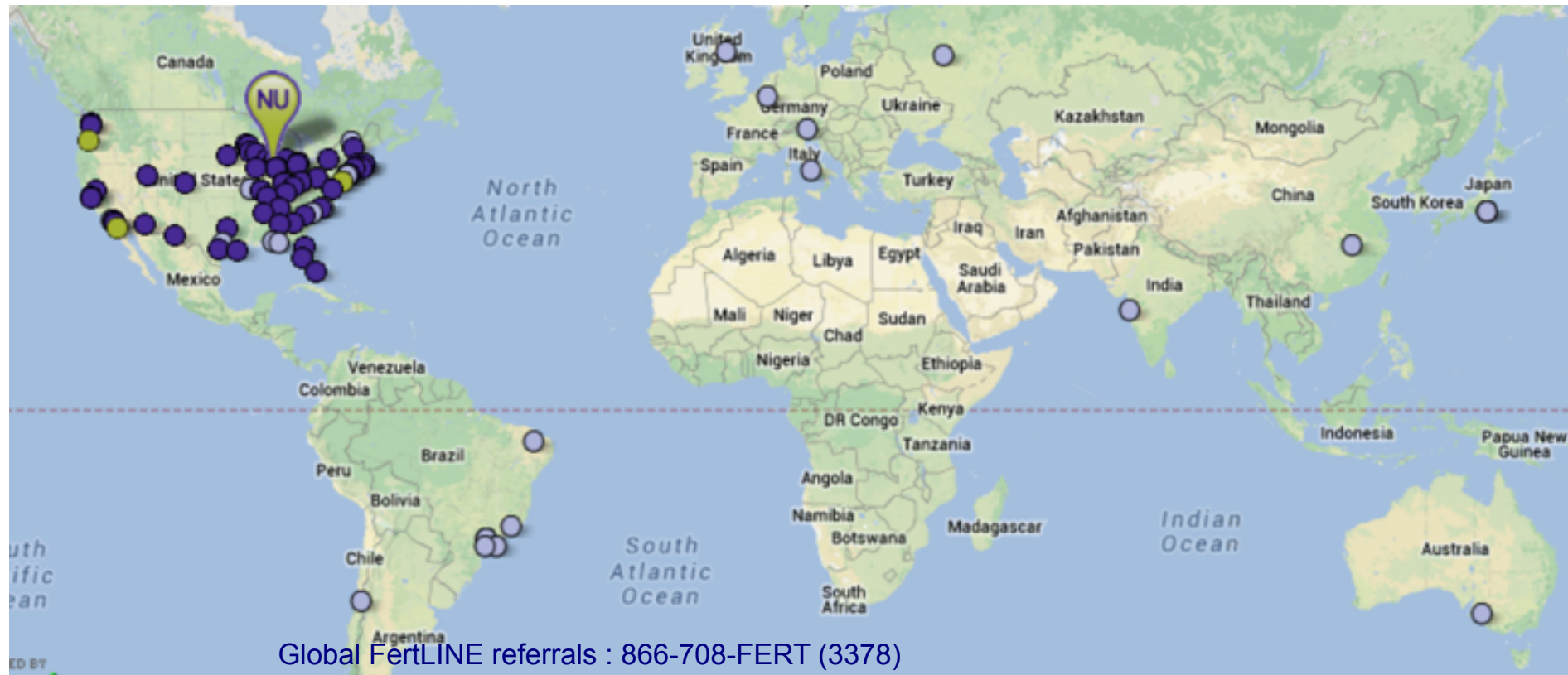


**GLOBAL
ONCOFERTILITY
NETWORK**

Woodruff先生より供与

The Global Oncofertility Community

<http://oncofertility.northwestern.edu/global-oncofertility-partners>



60+ sites within the United States
13 Global Partners

<http://oncofertility.northwestern.edu>

**NATIONAL
PHYSICIANS
COOPERATIVE**



the
Oncofertility[®]
Consortium

www.oncofertility.northwestern.edu

**GLOBAL
ONCOFERTILITY
NETWORK**

Woodruff先生より供与

The Oncofertility Consortium and Japan!



**NATIONAL
PHYSICIANS
COOPERATIVE**

 **the
Oncofertility[®]
Consortium**
www.oncofertility.northwestern.edu

**GLOBAL
ONCOFERTILITY
NETWORK**

Woodruff先生より供与

Oncofertility Consortium JAPAN meeting 2016

地域完結医療連携モデルの全国展開および がん・生殖医療における心理支援体制の構築

職種間連携の現状と問題点に関して（看護領域）

—女性のがん患者を中心に—

聖路加国際大学ウィメンズヘルス・助産学

森 明子

厚労科研鈴木班

職種間連携の現状と問題点（心理領域）

国立成育医療研究センター研究所

小泉智恵

厚労科研三善班

職種間連携の現状と問題点（小児領域）

大阪大学大学院医学系研究科 小児科学

三善 陽子



がん専門相談員向け 若年がん患者の妊孕性温存に関する 相談支援研修会

日時 2016 年 12 月 4 日（日）
13:00~17:00 12時より受付

場所 国立がん研究センター 築地キャンパス
国際研究交流会館
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 13:00-13:20 | Opening Remarks
三善 陽子（大阪大学大学院医学系研究科 小児科学） |
| 13:20-13:40 | 妊孕性に関する相談支援の必要性
加藤 雅志（国立がん研究センター中央病院相談支援センター） |
| 13:40-14:10 | がんと生殖に関する総論
鈴木 直（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学） |
| 14:10-14:40 | がん治療による妊孕性への影響
清水 千佳子（国立がん研究センター中央病院乳腺・腫瘍内科） |
| 14:40-15:10 | 女性がん患者の妊孕性
鈴木 直（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学） |
| 15:25-15:55 | 男性がん患者の妊孕性
岡田 弘（獨協医科大学越谷病院 泌尿器科） |
| 15:55-16:15 | 妊孕性に関する相談の支援方法
宮田 佳代子（国立がん研究センター中央病院相談支援センター） |
| 16:15-16:30 | パンフレットの活用方法
竹内 恵美（国立がん研究センター中央病院相談支援センター） |
| 16:30-17:00 | 総合討論 |

開催： 厚生労働科学研究補助会がん対策推進総合研究推進事業「小児・若年がん長期生存者に対する妊孕性のエビデンスと生殖医療ネットワーク構築に関する研究」班
共催： 公益財団法人日本対がん協会
後援： 特定非営利活動法人 日本がん・生殖医療学会

厚生労働科学研究（がん対策研究）推進事業

地域完結医療連携モデルの全国展開および がん・生殖医療における心理支援体制の構築

がん・生殖医療に関する治療ガイドライン作成に向けて

東京大学大学院医学系研究科
産婦人科学講座
大須賀穰



一般社団法人
日本癌治療学会

小児思春期、若年がん患者の妊孕性温存診療ガイドライン

■小児思春期、若年がん患者の妊孕性温存に関するガイドライン作成ワーキンググループ

1)構成

2017年4月に刊行予定

委員長: 青木 大輔

副委員長: 鈴木 直

委員: 牛嶋 公生

西山 博之

協力委員: 石田 也寸志

神田 善伸

桑原 章

篠原 信雄

副島 俊典

永尾 光一

坂東 裕子

三善 陽子

大須賀 穰

朴 成和

岡田 弘

菊地 盤

小林 裕明

清水 千佳子

高井 泰

中島 健

古井 辰郎

武藤 学



一般社団法人

日本癌治療学会

谷本 光音

細井 創

沖田 南都子

北島 道夫

佐治 重衡

末延 聡一

土屋 恭子

馬場 英司

堀江 昭史

米田 光宏

津川 浩一郎

森重 健一郎

河合 弘二

木村 文則

佐藤 豊実

杉本 公平

戸澤 晃子

原田 美由紀

宮地 充

2)任 務

小児思春期、若年がん患者の妊孕性温存に関するガイドラインを作成す

2015.10.29京都にてキックオフ

がんサバイバーのQOL向上を志向して、がん治療医はAYA世代がん患者に対する妊孕性温存に関する重要性を再認識する必要がある。がんの種類や進行状況によってはがん治療を何よりも最優先とし、将来の妊娠・出産を断念せざるを得ない状況も少なくない。本学会は、がん患者の妊孕性温存を十分に考慮しつつ、がん治療に主眼を置いた指針作りを目指している。

Oncofertility Research and Clinical Practice: A Decade of Progress and Goals for the Future

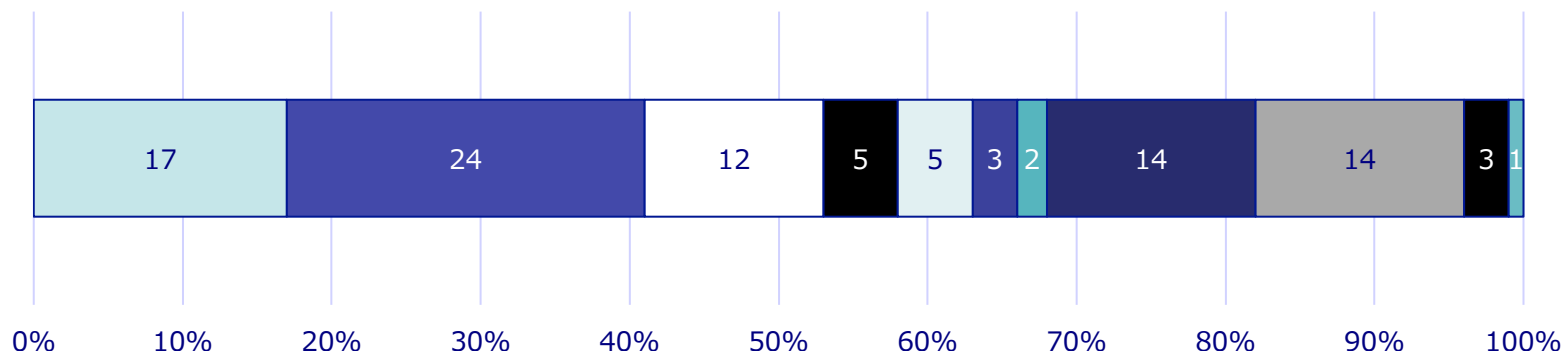


Oncofertility 2036

- ✓ Better Cancer Control and Tx
- ✓ Higher Selectivity of Patients
- ✓ Neo-adjuvant Fertility Protectives
- ✓ In Vitro Follicle Maturation
- ✓ Designer Ovarian Bioprosthesis
- ✓ Eliminate the Field

Oncofertility Consortium JAPAN meeting 2016

3.がん・生殖医療の今後の課題として、 下記のうち何が重要だと思いますか？



1.診療技術、ガイドラインの確立

2.医療者への啓発

3.患者への啓発

4.エビデンス

5.保険点数の増額（具体的に）

6.資金・研究費の増額

7.医師の人員や時間の問題

8.コメディカルの人員や時間の問題

9.地域ネットワークの設立

10.拠点病院などといった公的な認定

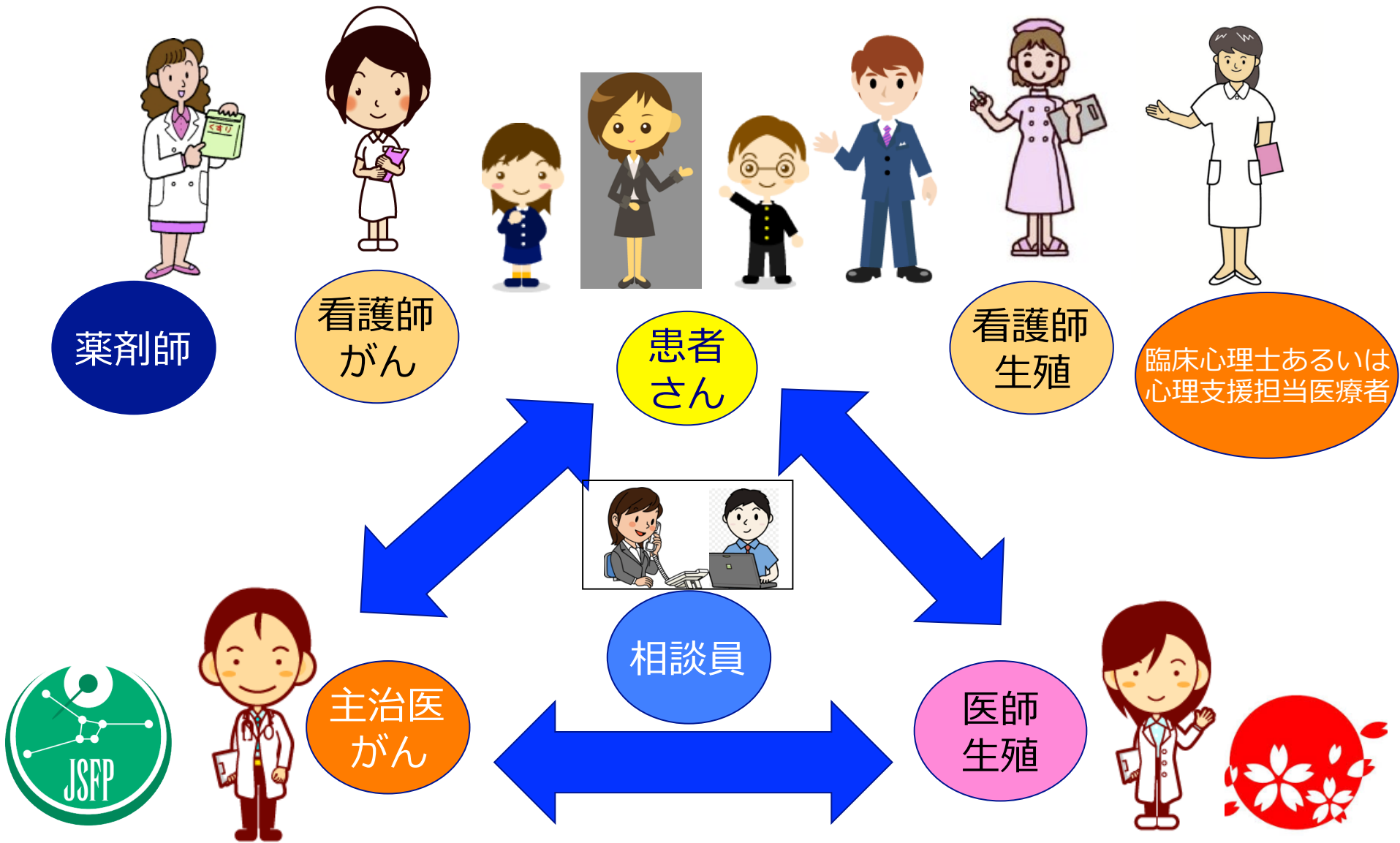
11.その他

127名の参加者
医師、看護師、臨床
心理士、薬剤師
ソーシャルワーカー
など

地域完結医療連携モデルの全国展開およびがん・生殖医療における心理支援体制の構築

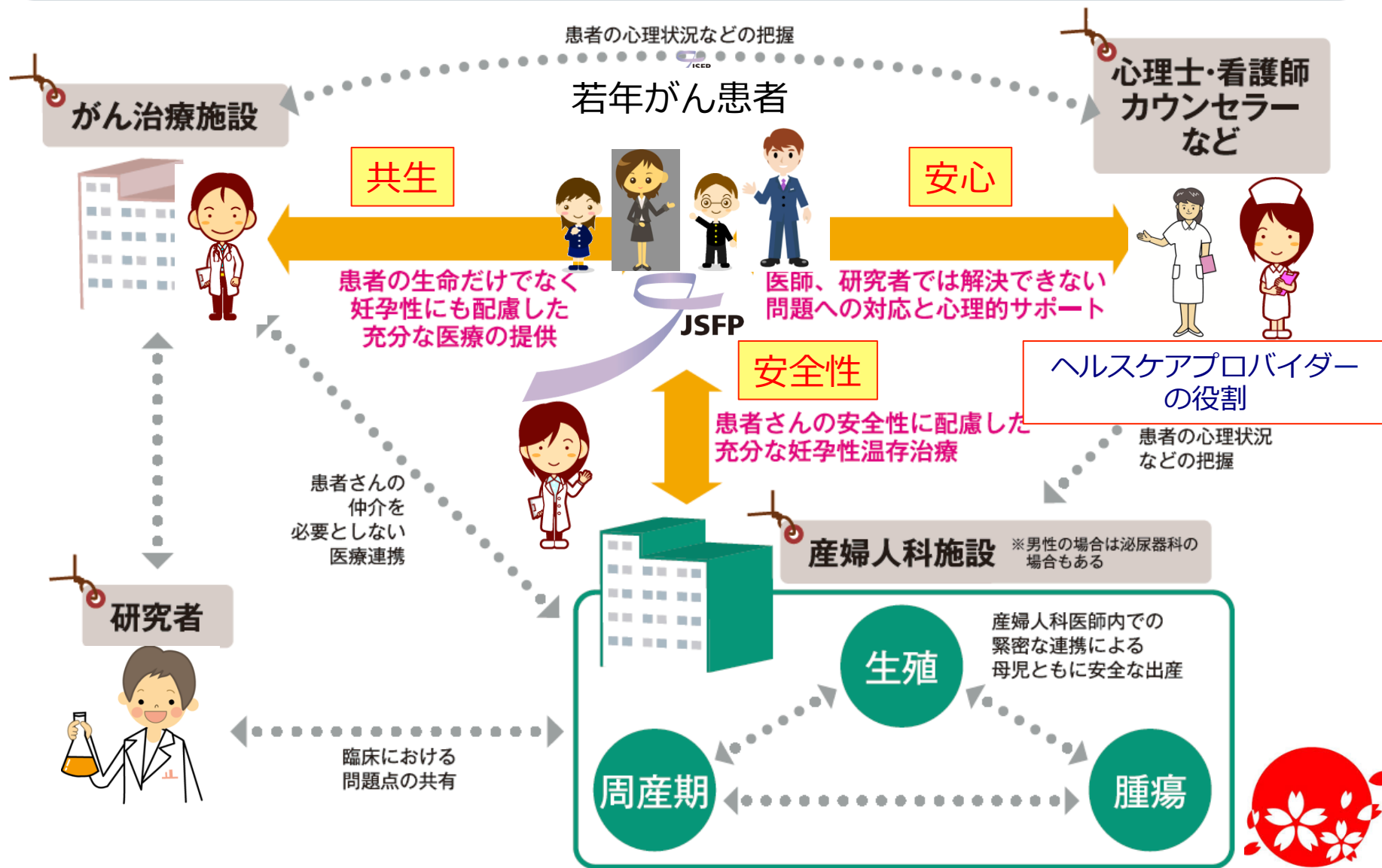
- ✓ 医療連携ネットワークにのせることが大切だと思うのですが、そのネットワークの窓口を明確にしてもらいたいのと、ネットワーク外の施設の患者がどのように受診することができるかも明確にしてほしい。
- ✓ どのように関わっていけばよいか、どのように動いていけばよいか、少しくわしい方法を知りたい。
- ✓ がん生殖医療ナビゲーターなど、コールセンター業界の立場ではどういったことができるか？をこれから考えていきたいと思います。
- ✓ まず院内での内容の啓発が重要だと感じた。
- ✓ 自施設で他職種ふくめ、関心があるスタッフを見つけることが大切だと感じた。
- ✓ 県内の連携も重要ではありますが、まずは院内のがん領域の認定Nsやがん治療医・生殖医療医との連携を充実させたいとあらためて感じました。
- ✓ ガイドラインは血液疾患患者さんにも伝えていけるよう私たち造血細胞移植コーディネーターも情報共有していきたいと思う。

がん・生殖医療 (Oncofertility)におけるヘルスケアプロバイダー



✓ 本邦においても、2012年以降全国において徐々に、がん・生殖医療連携ネットワークが構築されつつある！

JSFPが考える、地域におけるがん・生殖医療ネットワークの医療



がん治療と妊娠

～がん治療後の将来を見据えて～

English



特定非営利活動法人
日本がん・生殖医療学会

一般・患者のみなさま	がん・生殖看護に関して	カウンセリングに関して	特定非営利活動法人 日本がん・生殖医療学会(JSFP) Japanese Society for fertility preservation	入会案内
------------	-------------	-------------	---	------



希望を持ってがんの治療に取り組むために。
『妊よう性温存』に関して正しい情報を、正しいタイミングで知ることが大切です。

一般・患者のみなさま	患者ネットワーク	妊よう性温存療法について	医療関係者のみなさま	地域医療連携の紹介	JSFPシンポジウム
------------	----------	--------------	------------	-----------	------------

NEWS

過去のニュース一覧

2016年12月27日 「総合的な思春期・若年成人 (AYA) 世代のがん対策のあり方に関する研究」のホームページをリンクいたしました。

2016年12月5日 「若年乳がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の構築」のホームページをリンクいたしました。

2016年12月5日 2017年1月29日 (日) 本学会共催の「若年乳がん患者の妊孕性温存に関する心理支援セミナー」が開催されます。(会場: 横浜情報文化センター 情文ホール)

2016年11月22日 2017年3月5日 (日) に「がんと生殖に関するシンポジウム2017」を開催いたします。(会場: 大手町サンケイプラザ4Fホール) テーマは「乳がん患者の妊娠・出産 ～エビデンスから実践へ～」として

がんと生殖に関するシンポジウム2017

乳がん患者の妊娠・出産
—エビデンスから実践へ—

日時 **2017年3月5日(日)8:55～17:00**

会場 **サンケイプラザ4Fホール**

チラシのダウンロードはこちら

がんと生殖に関するシンポジウム2017 開催について

「がんと生殖に関するシンポジウム2017」は「乳がん患者の妊娠・出産～エビデンスから実践へ～」をテーマに2017年3月5日(日)にサンケイプラザ4Fホールで開催させていただきます。乳がんは世界の女性を襲う最も多い悪性疾患で、将来の結婚や妊娠を考えている若年女性が罹患することもありません。乳がんは薬物に対する感受性が比較的高く、術後再発を防ぐために3～6か月間の化学療法や5～10年間の内分泌療法など薬物療法が多く患者さんに行われています。しかし一方で化学療法による卵巣機能障害や長期間治療後の年齢などにより、治療と妊娠に関する話し合いや妊孕性の保持が重要な課題となっています。プログラムの詳細については近日公開いたします。

厚生労働科学研究 がん対策推進総合研究事業
総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究

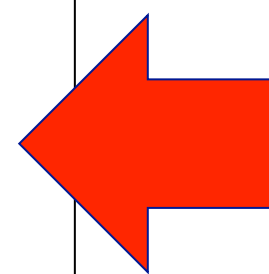
厚生労働科学研究 がん対策推進総合研究事業
若年乳がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の構築

がん治療を始める前に! 動画

小児・若年がん長期生存者に対する妊孕性のエビデンスと生殖医療ネットワーク構築に関する研究

乳がん患者の妊娠出産と生殖医療に関する診療の手引き
2014年版

LINKS



<http://www.j-sfp.org>



平成 27 年度 厚生労働科学研究 がん対策推進総合研究事業

総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究

地域で完結することができる、AYA 世代がん患者さんの 妊孕性温存に関する支援プロジェクト

ーがん・生殖医療地域医療連携ネットワークの構築



15～39歳の思春期・若年世代のがん患者さんに対しては治療前の不安をはじめ妊孕性温存、がん治療後の妊娠など一連のサポートが必要となります。

本サイトでは医師、看護師、臨床心理士などさまざまな医療従事者が関わる各県の地域医療連携を紹介しています。

◀ 研究への取り組み ▼

◀ 地域医療連携について ▼

◀ 研究班メンバー

<http://www.j-sfp.org>



＞ TOP

＞ 研究への取り組み

＞ 地域医療連携について

＞ 研究班メンバー

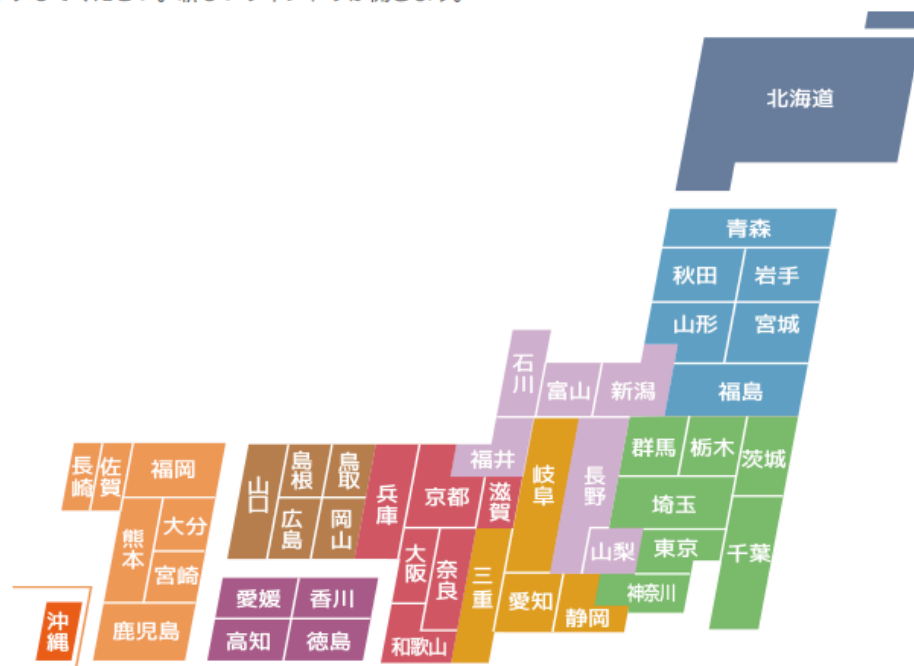
トップページ ＞ 地域医療連携について

地域医療連携について

地域医療連携について

地域医療連携について

クリックしてください。新しいウィンドウが開きます。

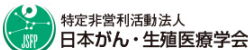


現在アップされている県

- | | | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| ○ 北海道 | ○ 宮城県 | ○ 栃木県 | ○ 埼玉県 | ○ 千葉県 | ○ 福井県 | ○ 岐阜県 |
| ○ 静岡県 | ○ 滋賀県 | ○ 兵庫県 | ○ 岡山県 | ○ 広島県 | ○ 福岡県 | ○ 長崎県 |
| ○ 熊本県 | ○ 大分県 | ○ 鹿児島県 | ○ 沖縄県 | | | |



岐阜県



日本がん・生殖学会のホームページでもご覧いただけます。

岐阜モデル

岐阜県では、平成25年2月15日に「**岐阜県がん・生殖医療ネットワーク**」が立ち上がりました。このネットワークは、若年がん患者さんに治療前に妊娠性低下に関する十分な情報提供、カウンセリングや妊娠性低下の予防処置の適応の検討やその選択肢の提供を円滑かつ迅速に提供すること、がん治療および生殖医療専門医が連携・情報交換を容易にするためのものです。ネットワーク発足時点で県内のがん治療、生殖医療、行政、医師会、医療倫理学会の各分野から平成25年2月15日現在24施設、52部門（診療科等）から116名の各分野の専門家が参加しております。

参加者へのアンケートの結果からは、岐阜県内のがん治療医は治療（手術、化学療法、放射線治療）による妊娠性低下について一定の知識を持ちながらも、その対策について環境が整備されていないため、患者に対して十分なカウンセリングや各種選択肢の提案に躊躇している現状がうかがわれました。

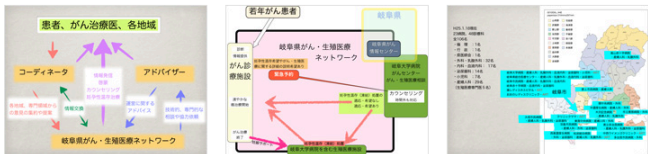
がん治療と生殖医療専門医がお互いの分野を超えて対応するネットワークが患者への情報提供やその後の対応を円滑に行う上で非常に大きな役割を果たす可能性が再認識されました。

また、平成25年2月18日には岐阜大学医学部附属病院がんセンター内に「**がん生殖医療相談**」を開設し、このネットワークを通じて医療機関の垣根を超えて患者さんのがん治療と妊娠性に関するカウンセリング、妊娠性温存治療およびがん治療後の不妊治療のために適切な生殖医療施設への紹介を目的としています。

更に岐阜大学医学部附属病院では、がん治療前後の卵巣凍結保存と融解卵巣組織の自家移植についても対応可能となりました。この取り組みを通して、岐阜県の医療従事者全体で若年がん患者の皆様に対する治療前の不安の軽減、妊娠性温存処置、がん治療後の妊娠のサポートに貢献できればと考えております。

ぎふがんねっと（将来の出産に備えて） <http://gifugan.net/wp/norikoeru/syussan/>
岐阜大学医学部附属病院がんセンター <http://hosp.gifu-u.ac.jp/center/gan/index.html>

※クリックで大きな画像が表示されます。



岐阜県がん・生殖医療ネットワーク(GPOFs)ミーティング2014を終えて

古井辰郎

昨年に引き続き、2月14日にGPOFsのミーティングを開催いたしました。金曜日でバレンタインデー、さらに大雪にまで見舞われ、勉強会の開催にとつては重なる悪条件の中、がん治療および生殖医療に携わる医師、看護師のみならず、倫理学、臨床心理学、行政など幅広い分野を専門とする、約50人のOncologic health care providersの参加をいただき、熱いディスカッションを交わす事が出来ました。

会に先立ち、コーディネーターおよびアドバイザーの先生方と、本ネットワークの問題点や運営方法に関する意見交換の場を持ちました。

会の前半では、「第1部 若手腫瘍医によるワークショップ（JSFP教育プログラム）」として、岐阜県内の主要がん治療施設より乳癌外科、外科、小児